


クラス番号	910	ゼミタイプ	エクスカージョン型
		担当教員名	藤井博之
テーマ	患者と医療職に会って、いのちと医療を社会的・歴史的に考えるSWを目指す		
ゼミナール概要			
学習目標:			
<p>医療専修では、2年生の演習科目について、共通の学習目標を定めています。1)前期には、医療・福祉支援の対象者（患者またはクライアント）に会いに行き、その方たちについて知ること、2)後期には、保健・医療・福祉の専門職の仕事について知ることです。</p> <p>このクラスでは、これに加えて、3)フィールドワークを企画・準備・実行するためのノウハウ（訪問先の決定、訪問先との連絡調整、事前学習、移動や宿泊の手配、参加費の確保、当日の観察と記録、振り返り、レポートや報告集の執筆・編集・印刷・製本）を、実際に行って学びます。</p> <p>そして、今年度のテーマとして、4)いのちと医療・福祉に関連する問題の社会的・歴史的背景を理解することとします。これらの目標を達成するために、ほかのクラスとのコラボレーションも行う予定です。</p> <p>これらを通じて、5)3-4年生の専門演習で必要になる卒業研究・論文作成の基礎となるレポート作成、調査の計画実施が得意になることを目指します。</p>			
キーワード:			
患者・クライアントに会う 専門職の仕事 フィールドワークのノウハウ いのちと医療・福祉 研究・論文作成の基礎			
授業の内容:			
<p>前期は数名ずつのグループを作り、会いに行く患者・クライアントを決め、自分たちで企画してフィールドワークを行います。後期は、やや遠方の医療機関または保健医療の支援機関で、そこで働く人々の仕事を兄学するフィールドワークを企画・実施します。12月には全員が協力して、ゼミ報告集を発行します。</p>			
成績評価:			
<p>出席、レポート（最低3回を予定）内容、フィールドワークの準備・実施とクラス運営における態度と活躍ぶりで厳密に行います。</p>			
授業計画:			
<p>前期は、4月：クラスとグループ形成、5～6月：会いに行く患者・クライアントの決定、フィールドワーク（6月下旬を想定）の事前学習と準備、実施、7月：振り返りとレポートの作成・提出の順に進めます。</p> <p>後期は、9月：多職種連携についての学習、見学先医療機関の検討、10～11月見学先の決定、フィールドワーク（11月下旬を想定）の事前学習と準備、実施、12月：振り返りとレポートの提出、報告集の作成の順に進めます。</p> <p>これらの中で、医療専修内あるいは他の専修のクラスとの、コラボ企画を、数回行います。</p> <p>特定の教科書は使いませんが、必要に応じてテキストや参考書を紹介し、読書レポートを提出していただきます。</p>			
担当教員からのメッセージ			
	<p>担当教員の藤井は、臨床医出身で、現在も毎週、長野県の佐久総合病院で診療しています。</p> <p>小グループで企画や役割を遂行する授業ですので、何度も欠席すると脱落する危険性があります。また、後期のフィールドは遠方になる可能性がありますので、経済的負担もあります。</p> <p>でも、きっと、3-4年生の実習、卒論作成、進路の決定と就職活動につながります。</p>		